



2020年11月9日

各 位

上場会社名 サノヤスホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 上 田 孝
 (コード番号 7022 東証第1部)
 問合せ先責任者 総務部長 田 代 昌 利
 (TEL 06-4803-6161)

造船事業譲渡後の経営戦略に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会においてグループの中核会社であるサノヤス造船株式会社を株式会社新来島どつくへ譲渡することを決定いたしました。これに伴い、当社は来年3月以降からは造船事業を持たない、持株会社の下に後掲の事業会社一覧に示す9社の事業会社（以下、「M&T事業」）を擁する中堅企業の連合体となります。

今後、M&T事業により持続・発展を遂げるために経営戦略の整理を行いましたので、お知らせします。

記

1. M&T事業の企業群、事業領域

M&T事業においては、ニッチマーケットにおいて優位な地位を占めている部門が多く存在し、過当競争に巻き込まれることが少なく、しかも一定の成長余地が残されている恵まれた競争環境にあります。また、そのターゲット市場が多岐に分散していることから、グループ全体として比較的、景気変動リスクに強い体制を構築できております。

<事業会社一覧>

事業会社	主要営業品目
サノヤス・エンジニアリング株式会社	工事用エレベーターの製造・販売・レンタル 機械式駐車装置の製造・販売・メンテナンス ショットブラストマシンの製造・販売
サノヤス精密工業株式会社	半導体産業向等精密機械部品の加工 特殊車両向機械部品の製造
みづほ工業株式会社 美之賀機械（無錫）有限公司	化粧品・医薬品の真空乳化装置等の製造・販売 工場排水処理装置の製造・販売 各種タンク・鋼構造物の設計・施工(2021年4月以降)
山田工業株式会社	空調・給排水・衛生設備の設計・施工 医療廃棄物滅菌破砕装置の製作
ハピネスデンキ株式会社	高層ビル向等動力制御盤・配電盤の製造
サノヤス・ライド株式会社 サノヤス・ライドサービス株式会社	遊園地遊戯機械の製造・販売・運営 遊園地・遊園地施設の運営管理受託
サノヤス・ライド（オーストラリア）	メルボルン大観覧車の所有・運営

2. M&T事業の経営革新の経緯

M&T事業は、ここ数年増益基調で事業を展開しております。これは恵まれた事業環境によるものだけではなく、各事業会社が経営体質強化に地道に取り組んだ成果でもあります。

2012年1月の持株会社体制移行以来、「自立と自律」というコンセプトの下、各事業会社を主体とする成長戦略と経営体質強化を進めてきました。各事業会社の経営改革が一定程度進捗した後は、さらに非連続な成長を実現する視点からM&Tグループとしての経営革新を進め、2018年のサノヤスMTG株式会社の設立を機に、その流れを一気に加速させました。この間、組織改革としては、次の3点に取組みました。

- ① 事業会社の再編・統合
- ② 事業の選択と集中（不採算事業の整理等）
- ③ M&Aの推進

一方で、グループとしての経営体質強化策としては、次の項目を地道に進めてきました。

- ④ 技術的支援部門、IT化支援部門の設立
- ⑤ 経営管理の近代化
- ⑥ 技術系及び製造系人材の育成強化

また事業経営の面では、売上高よりも利益額及び利益率の伸長に重点を置いた経営を推進してきました。

その結果、直近事業年度におけるM&T事業の業績は、黒字転換を果たした2013年度対比、売上で約60億円、営業利益で約10億円の増加、また営業利益率では約4ポイントの向上を実現しています。しかし、変革余地はまだ数多く残っており、事業会社の枠を超えて成長分野にリソースを集中させることにより、さらなる成長拡大が可能と考えております。

<M&T事業の業績推移>

(単位：百万円)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高	15,007	14,041	15,535	17,123	17,046	16,844	18,499	19,873
営業利益	△571	406	262	863	523	876	1,231	1,396
営業利益率	△3.8%	2.9%	1.7%	5.0%	3.1%	5.2%	6.6%	7.0%

3. 今後の経営戦略

基本コンセプトは「ニッチマーケットにおける高収益で成長し続ける設備事業群」とします。そのポイントは、

- ① 当社のM&T事業が持つ“中堅企業連邦経営”の特長を活かしつつも、従来以上に“グループとしての総合力”を発揮させる
- ② 技術革新やノウハウ蓄積による商品・サービスの差別化、高付加価値化に注力する
- ③ 新規事業の開発や取り込み、M&Aの積極的な推進を図りながら、常に成長志向を持った事業活動を展開する

の3点であり、これを柱としながら高収益を長期間継続できる企業づくりを推進いたします。

また同時に、経営効率の改善と自己資本比率の回復に向け、固定費の圧縮及び資本政策について検討してまいります。

4. 具体的な経営施策、経営目標数値

新年度に向け、中期経営計画を検討するプロジェクトチームを組成します。「with コロナ」の経営環境を踏まえて、具体的な経営施策と経営目標数値を策定し、公表する方針です。

以上